



平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成29年11月14日

上場会社名 株式会社 中西製作所
 コード番号 5941 URL <http://www.nakanishi.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中西 昭夫

問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 喜井 裕之

TEL 06-6791-1111

四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	13,670	12.6	1,309	64.8	1,371	64.9	883	85.8
29年3月期第2四半期	12,136	14.9	794	65.5	831	57.2	475	44.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	140.20	
29年3月期第2四半期	75.45	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	20,425	13,772	67.4
29年3月期	20,688	13,015	62.9

(参考)自己資本 30年3月期第2四半期 13,772百万円 29年3月期 13,015百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		34.00	34.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)				25.00	25.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,770	3.5	1,770	18.1	1,850	17.4	1,166	18.2	185.00

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	6,306,000 株	29年3月期	6,306,000 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	3,411 株	29年3月期	3,411 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	6,302,589 株	29年3月期2Q	6,302,589 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の詳細につきましては、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益が好調な中、雇用・所得環境の改善が続き緩やかな回復基調にあるものの、北朝鮮情勢や為替動向のリスク要因もあり、先行きが不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社におきましては、総合厨房機器メーカーとして、人手不足感が強まる社会背景もふまえて、食中毒や異物混入問題等で、ますます注目の集まる「食の安全・安心」の課題克服に向け、得意とする効率的な大量調理・洗浄システムはもとより、様々な顧客ニーズに対応した厨房機器・厨房システムの提案を心がけ、営業部門、生産部門及び管理部門の各部門が一体となって業績の向上に取り組んでまいりました。

業績面におきましては、大型案件の受注が好調で、当第2四半期累計期間の売上高は136億70百万円（前年同期比12.6%増）となりました。利益面につきましては、売上高の増加及び利益率の若干の改善により、営業利益は13億9百万円（前年同期比64.8%増）、経常利益は13億71百万円（前年同期比64.9%増）、そして、四半期純利益は8億83百万円（前年同期比85.8%増）となりました。

なお、当社は、主要販売先である学校給食関連の納期が夏季及び年度末に集中しているため、売上高が第1、第3四半期会計期間に比べて第2、第4四半期会計期間に高くなる傾向にあります。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①業務用厨房機器製造販売事業

業務用厨房機器製造販売事業につきましては、売上高は136億16百万円（前年同期比12.7%増）、セグメント利益は12億83百万円（前年同期比67.4%増）となりました。

②不動産賃貸事業

不動産賃貸事業につきましては、売上高は53百万円（前年同期比0.0%減）、セグメント利益は25百万円（前年同期比5.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末の資産合計は、前事業年度末に比べ2億62百万円減少し、204億25百万円となりました。これは主に、土地が7億46百万円、仕掛品が2億49百万円増加したものの、現金及び預金が6億42百万円、受取手形及び売掛金が3億13百万円、商品及び製品が2億19百万円減少したことなどによるものであります。

負債合計は、前事業年度末に比べ10億19百万円減少し、66億52百万円となりました。これは主に、電子記録債務が1億74百万円増加したものの、支払手形及び買掛金が10億86百万円、未払法人税等が94百万円減少したことなどによるものであります。

純資産合計は、前事業年度末に比べ7億57百万円増加し、137億72百万円となりました。これは主に、剰余金の配当が2億14百万円あったものの、四半期純利益を8億83百万円計上し、その他有価証券差額金が87百万円増加したことなどによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べて6億42百万円減少し、当第2四半期会計期間末には31億17百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況と要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は3億62百万円（前年同四半期は獲得した資金10億46百万円）となりました。これは主に仕入債務が8億93百万円減少、法人税等の支払額が6億16百万円あったものの、税引前四半期純利益を13億71百万円、減価償却費を1億89百万円計上し、売上債権が3億56百万円減少したことなどによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は7億87百万円（前年同四半期は使用した資金1億58百万円）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出が7億78百万円あったことなどによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は2億17百万円（前年同四半期は使用した資金3億48百万円）となりました。これは主に配当金の支払額が2億13百万円あったことなどによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の通期業績予想につきましては、平成29年5月15日に公表いたしました業績予想を変更しております。詳細につきましては下記のとおりです。

平成30年3月期の通期業績予想数値の修正

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 25,000	百万円 1,585	百万円 1,660	百万円 1,010	円 銭 160.25
今回修正予想(B)	26,770	1,770	1,850	1,166	185.00
増減額 (B - A)	1,770	185	190	156	—
増減率(%)	7.1	11.7	11.4	15.4	—
(ご参考)前期実績 (平成29年3月期)	25,854	2,161	2,238	1,425	226.25

修正の理由

当初予想より、受注物件が好調に推移したことにより、平成29年5月15日に公表の業績予想を上回る見通しとなりましたので、通期業績予想を上記のとおり修正いたします。

なお、この将来予測情報は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の経済情勢、事業運営等の状況変化により、実際の業績等は様々な要因により記載の予想数値と大きく異なる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,759,977	3,117,193
受取手形及び売掛金	6,027,963	5,714,265
商品及び製品	1,186,232	966,949
仕掛品	548,377	797,846
原材料及び貯蔵品	590,341	543,333
繰延税金資産	263,924	270,376
その他	245,038	239,438
貸倒引当金	△2,548	△2,423
流動資産合計	12,619,305	11,646,980
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,418,702	2,371,658
土地	3,308,129	4,054,948
その他(純額)	617,553	537,018
有形固定資産合計	6,344,384	6,963,625
無形固定資産	289,684	248,627
投資その他の資産		
投資有価証券	980,643	1,110,899
前払年金費用	255,877	294,526
その他	206,954	169,635
貸倒引当金	△8,521	△8,521
投資その他の資産合計	1,434,954	1,566,539
固定資産合計	8,069,024	8,778,793
資産合計	20,688,329	20,425,774
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,891,038	1,804,132
電子記録債務	1,163,904	1,338,387
短期借入金	400,000	400,000
未払費用	211,397	217,502
未払法人税等	607,573	512,938
賞与引当金	278,946	283,694
その他	704,849	656,573
流動負債合計	6,257,709	5,213,229
固定負債		
長期借入金	300,000	300,000
長期未払金	188,533	188,533
退職給付引当金	835,034	855,887
その他	91,253	95,314
固定負債合計	1,414,821	1,439,734
負債合計	7,672,530	6,652,963

(単位:千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成29年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,445,600	1,445,600
資本剰余金	1,537,125	1,537,125
利益剰余金	10,182,669	10,851,993
自己株式	△2,477	△2,477
株主資本合計	13,162,917	13,832,240
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	461,561	548,710
繰延ヘッジ損益	18	557
土地再評価差額金	△608,697	△608,697
評価・換算差額等合計	△147,118	△59,430
純資産合計	13,015,798	13,772,810
負債純資産合計	20,688,329	20,425,774

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	12,136,760	13,670,040
売上原価	8,881,281	9,822,315
売上総利益	3,255,479	3,847,725
販売費及び一般管理費	2,460,812	2,537,837
営業利益	794,667	1,309,887
営業外収益		
受取配当金	8,473	9,127
仕入割引	32,796	36,568
その他	11,788	20,535
営業外収益合計	53,058	66,232
営業外費用		
支払利息	4,286	1,724
売上割引	1,196	1,332
為替差損	7,421	—
その他	3,250	1,467
営業外費用合計	16,155	4,524
経常利益	831,570	1,371,594
特別損失		
固定資産除却損	331	109
特別損失合計	331	109
税引前四半期純利益	831,239	1,371,484
法人税、住民税及び事業税	387,843	490,418
法人税等調整額	△32,124	△2,545
法人税等合計	355,719	487,873
四半期純利益	475,519	883,611

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	831,239	1,371,484
減価償却費	172,919	189,205
貸倒引当金の増減額(△は減少)	10,492	△125
賞与引当金の増減額(△は減少)	17,558	4,748
退職給付引当金の増減額(△は減少)	19,480	20,852
前払年金費用の増減額(△は増加)	△38,951	△38,648
受取利息及び受取配当金	△8,481	△9,130
支払利息	4,286	1,724
売上債権の増減額(△は増加)	1,411,750	356,409
たな卸資産の増減額(△は増加)	△279,615	16,821
仕入債務の増減額(△は減少)	△705,114	△893,058
その他	△183,439	△48,496
小計	1,252,124	971,786
利息及び配当金の受取額	8,481	9,130
利息の支払額	△4,155	△1,737
法人税等の支払額	△210,125	△616,837
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,046,325	362,342
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△136,165	△778,964
無形固定資産の取得による支出	△24,467	△3,128
投資有価証券の取得による支出	△4,790	△4,860
その他の支出	△7,318	△2,095
その他の収入	14,374	1,237
投資活動によるキャッシュ・フロー	△158,368	△787,811
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△550,000	—
長期借入れによる収入	300,000	—
リース債務の返済による支出	△4,785	△4,132
配当金の支払額	△93,876	△213,182
財務活動によるキャッシュ・フロー	△348,661	△217,314
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	539,295	△642,784
現金及び現金同等物の期首残高	3,133,290	3,759,977
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,672,585	3,117,193

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。